

# 対話を大切にし、相手の気持ちに気付く

～年下の子どもとの関わりの中で～



千代田せいが保育園は全園児を全職員で見えています。子どもたちも、**クラスの幅を越えて**、それぞれの心地よい場所で、それぞれに**必要な経験**が出来る環境で過ごしています。そのため、わらすきだから3階で過ごさなければいけないということではなく、1階や2階で過ごすこともありますし、3階に下のクラスの子が来ることもあります。保育園には色々な子がいます。年齢も、得意なこと・苦手なこともそれぞれ違って、一人で黙々とのんびり遊ぶことが好きな子もいれば、みんなでワイワイ遊ぶことが好きな子もいます。色々な子が一緒に生活する中で、**相手のことを理解しようとする姿**がとても多く見られるようになりました。

自分はよかれと思ってしたことが相手にとっては嫌だったということも...

”なんでだろう？” “どうしてそんな気持ちになってしまったんだろう？” 少し様子を見て待ってみたり、「落ち着いたら教えてね」と見守ってみたり。相手の気持ちを**知ろうとし**、**寄り添ってみる**、そんな素敵な姿が多く見られるようになりました。それはみんなも年上のお兄さん・お姉さんに同じように寄り添ってもらった経験からくるのかもしれないね。

**頼られたり感謝される**ことで、らんらんさん自身も、**自信**がついていっているように思います。

**異年齢**で過ごすこの環境は、**互いに良い刺激**がある素敵な場所だと改めて感じます。